

MAX[®]

取扱説明書

プロ用

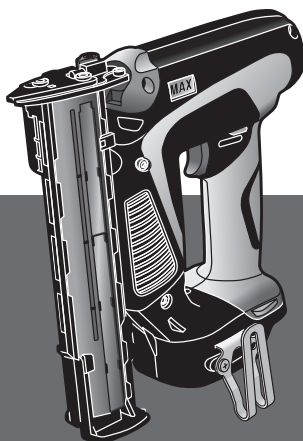
このたびは、マックス充電式フィニッシュネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の手扱にあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者及びまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。
正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。

この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

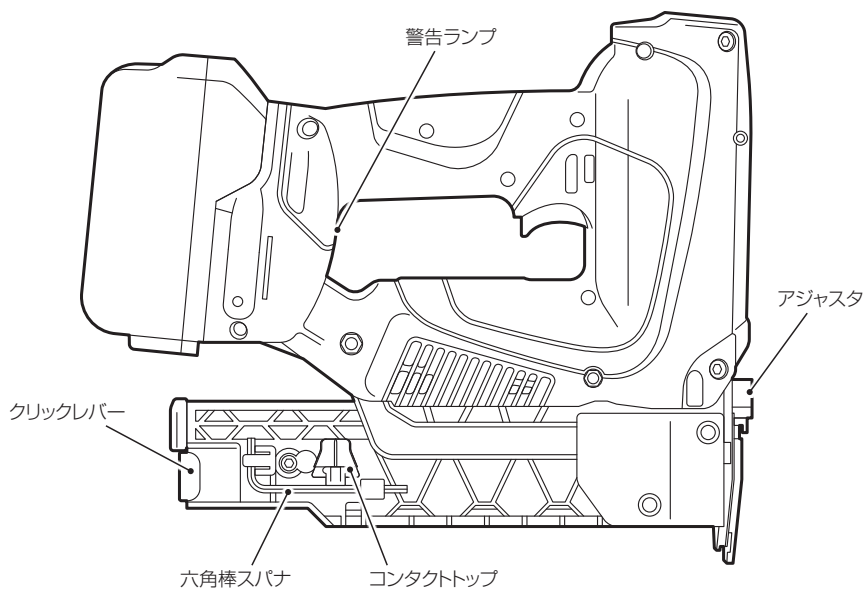
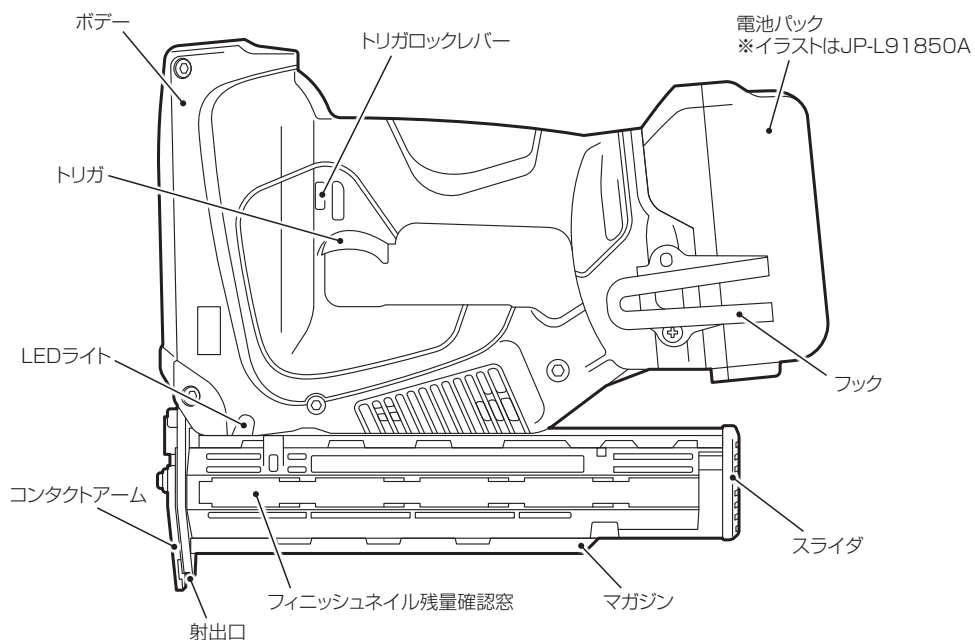
マックス充電式フィニッシュネイラ
TJ-35FN1



目 次

各部の名称	3
安全上のご注意(電池パック・充電器)	6
安全上のご注意(本体)	9
安全装置について	15
仕様及び付属品・使用フィニッシュネイル	16
電池パックと充電器の使い方	18
使用方法	26
フィニッシュネイルの装填方法	27
打ち方	29
フックの方向の変え方	31
コンタクトトップの使い方	32
アジャスタの調整	34
フィニッシュネイルづまりの直し方	35
警告ランプの表示と処置方法	37
性能を維持するために	38
保証、アフターサービスについて	39
保証について	39
アフターサービスについて	39

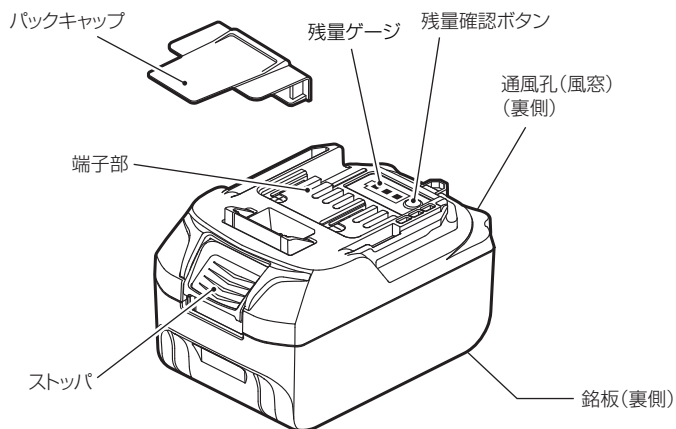
各部の名称



【電池パック】

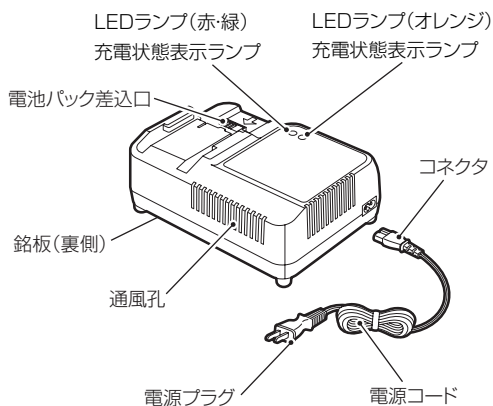
リチウムイオン電池パック
(JP-L91850A・JP-L91825A)

※イラストはJP-L91850A

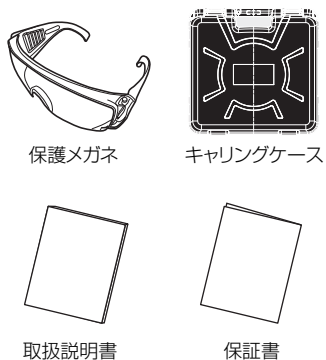


【充電器】

リチウムイオン急速充電器(JC-925)



【付属品】



▲ 安全作業のために

本機は、木材またはそれに類した材料を木材に止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意**、 **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。




警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



注

製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なお注意。

絵表示について



この記号は「してはいけないこと」を意味しています。
この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

⚠ 安全上のご注意(電池パック・充電器)

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 専用の充電器や電池パックを使用する。

- ・指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
- ・指定した電池パック以外は充電しないでください。
指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。

2. 正しく充電する。

- ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。充電器の故障の原因や異常発熱により火災のおそれがあります。
- ・温度が5℃未満、又は温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・使用しない場合は、電源コードをコンセント及び充電器本体から抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
- ・充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。

3. 電池パックの端子間を短絡（ショート）させない。

- ・電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。

4. 感電に注意する。

- ・濡れた手で充電器本体、コネクタ、電源コード、電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

5. 作業場の周囲状況も考慮する。

- ・充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又は濡れた場所で使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
- ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
- ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災のおそれがあります。

6. 電池パックを火中に投入しない。

- ・破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

⚠ 安全上のご注意(電池パック・充電器)

⚠ 警告

7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
8. 火災のおそれがありますので次のことをしない。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
 - ・通風孔（風窓）のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないでください。また通風孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
 - ・綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. 電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
 - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
 - ・液漏れした電池パックは、直ぐに使用を中止し、火に近づけないようにしてください。
 - ・直ぐにマックスエンジニアリング& サービスファクトリー(株)にお買い上げの販売店を通じてご相談ください。
10. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。
11. 充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
12. 異常を感じたら絶対に使用しない。
 - ・充電器や電池パックの異常を感じたら、ただちに使用を中止し、電池パックと充電器を一緒に、十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング& サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じ点検をお申し付けください。
13. 充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。
14. 充電器は充電以外の用途に使用しない。
15. 密閉された狭い場所で使用しない。
 - ・発煙、発火、破裂のおそれがあります。
16. 電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップをかぶせる。
17. 充電器を使用しない時はコンセントから電源コードを抜く。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保つ。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 子供を近づけない。
 - ・作業者以外、充電工具や充電器本体、電源コードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

▲ 安全上のご注意(電池パック・充電器)

▲ 注意

3. 使用しない場合は、きちんと保管する。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- ・充電工具や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
電池パック劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。

4. 充電器は、注意深く手入れをする。

- ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらないで、電池パックと充電器と一緒に、本機の性能回復に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング& サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
- ・マックス指定の純正電源コード以外は使用しないでください。満足な性能が得られないばかりか、感電やショートして発火するおそれがあります。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

5. 充電器のコードを乱暴に扱わない。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- ・充電器の保管時や充電工具のケースへの収納時には、電源コードのコネクタを抜いた状態で保管してください。
感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

6. 損傷した部品がないか点検する。

- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

7. 充電器の修理は、専門店で依頼する。

- ・サービスマン以外の人は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、直ぐに使用を中止し、電池パックと充電器と一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング& サービスファクトリー(株)に、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因になります。

▲ 安全上のご注意(本体)

▲ 警告

1. 保護メガネを使用する。

- ・作業場では、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。釘打ち作業時、打ち損じのフィニッシュネイルがはね返り、目に入ると失明するおそれがあります。また、飛散する切り粉や粉じんなどが目や鼻に入るおそれがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

2. 保護具を着用する。

- ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）など防音保護具を着用してください。
- ・作業時はヘルメット、安全靴などを着用してください。

3. 作業場所を常に整理する。

- 作業場所が乱雑だと、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。
- 作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

4. 本機を絶対に改造・分解しない。

- 本機を改造・分解すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

5. 次の場合は、電池パックを本体から抜く。

- ・使用しない、又はフィニッシュネイルづまりの除去や修理する場合。
 - ・本機の調整をする場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
- 不意に充電工具が作動して、事故やけがの原因になります。

6. 不意な始動は避ける。

- ・トリガに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電池パックを差し込む前にトリガが引かれていないことを確認してください。
- 不意に充電工具が作動して、事故の原因になります。

7. 指定の付属品やアタッチメントを使用する。

- ・この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。

8. 異常を感じたら絶対に使用しない。

- ・トリガが引けない、トリガを引いても作動しない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。
- 修理の際は決してご自分で修理なされないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

▲ 安全上のご注意(本体)

▲ 警告

9. 安全装置を確認する。

使用前には、必ず安全装置がその機能を適正に働かせているか確認してください。(安全装置の説明 15ページ参照)

- ・トリガロックをUNLOCK (アンロック：トリガが引ける状態) の位置にセットし、スライダを開いた状態にしてフィニッシュネイルを装填しないで確認してください。
- ・電池パックを充電してから行ってください。

※下記の場合には、安全装置が故障していますので本機を絶対に使わないでください。

1. トリガを引いただけで作動音がある。
2. コンタクトアームを打込対象物に当てただけで作動音がある。

10. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめる。

- ・埋設物があると先端工具が触れ感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

11. 打つ時以外は、絶対にトリガに指をかけない。

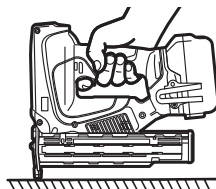
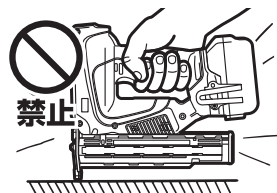
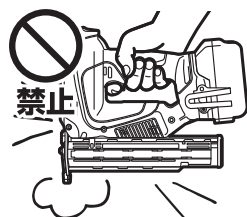
- ・トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。フィニッシュネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

12. 射出口を絶対に人体に向けない。

- ・射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながりますので、電池パックを装着するときも含め、射出口を人体に向けないでください。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですから教えてください。同時に打ち損じたフィニッシュネイルが人に当たらぬよう作業中はまわりの人にも注意をはらってください。

13. 射出口を確実に対象物に当てる。

- ・射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったフィニッシュネイルや木の節などに当たった場合、フィニッシュネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。



▲ 安全上のご注意(本体)

▲ 警告

14. 揮発性可燃物や引火のおそれがある物のそばでは絶対に使用しない。

- ・ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤など揮発性可燃物のそばでは引火、爆発や火災のおそれがありますので絶対に使用しないでください。



15. 移動時、フック使用時、使用しない時、本機の調整・修理、フィニッシュネイル装填などの時は、必ずトリガをロックし、本機から電池パックを外し、トリガに指をかけない。

- ・トリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動時、フック使用時、使用しない時、本機の調整（コンタクトトップの取付、取外しなど）・修理、フィニッシュネイル装填などの時は、必ずトリガをロックし、本機から電池パックを外し、トリガに指をかけないでください。



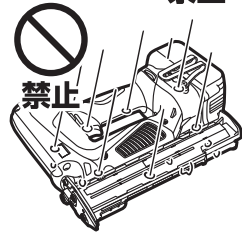
16. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちに使用を中止する。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー様へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

- ・そのまま使用を続けると、けがの原因になります。



17. 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。

- ・雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。感電事故の元となります。また、本機を雨の中に放置しないでください。



18. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。

- ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

19. コンタクトアーム（安全装置）の清掃を行なう。

- ・アスファルト、ゴミ等が附着してコンタクトアーム（安全装置）が戻らない時は、警告ランプが点滅し、打ち込みができなくなります（P37参照）。この場合は、必ずトリガをロックし、本機から電池パックを外し、フィニッシュネイルを取りのぞいてからコンタクトアームの掃除を行なってください。

20. 電池パックの端子間を短絡（ショート）させない。

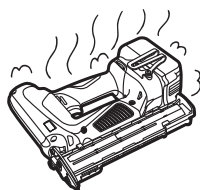
- ・電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。

⚠ 安全上のご注意(本体)

⚠ 警告

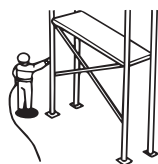
21. 連続作業後は必ず本機を休ませる。

- ・連続して使用した場合は、モータの発熱により温度が上昇します。そのまま使うとモータの焼損等故障、事故の原因になることがありますので、本機が熱くなったらしばらく休ませ熱が下がってからお使いください。



22. 高所作業の時には下に人がいないことをよく確認する。

- ・材料や本機を落したときなど、事故の原因になります。



23. 電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップをかぶせる。

24. 屋外作業では下記のことに注意する。

・足場の安全性を十分に確保する。

- 足場を使っての高所作業の場合、作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

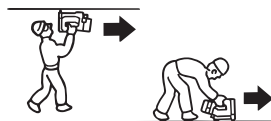


・直射日光をさける。

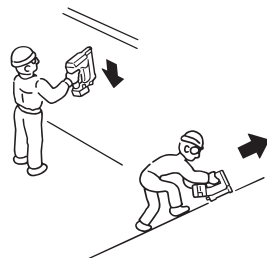
- 本機や充電器を直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。

25. 作業方向は下記のことに注意する。

- ・**水平面での作業**：前進姿勢で作業を行ってください。安全で疲労も少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



- ・**垂直面での作業**：本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。



- ・**傾斜面での作業**：屋根などの傾斜面の作業をするときは、下から上に向かって前進姿勢で作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはず危険があります。

26. 向かい合わせの同時作業は絶対にしない。

- ・向かい合って作業をすると打ち損じたフィニッシュネイルが前の作業者にあたり、思わぬけがをすることがありますので、向かい合わせの作業は絶対にしないでください。



⚠ 安全上のご注意(本体)

⚠ 注意

1. 指定フィニッシュネイルを必ず使用する。

- ・指定されたフィニッシュネイル (P16 参照) と異なるものを使うと本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のフィニッシュネイルをお使いください。

2. フィニッシュネイル射出口を金属など硬いものに当てて打たない。

- ・事故の原因になります。

3. フィニッシュネイル打ち作業以外には使用しない。

- ・事故の原因になります。

4. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止する。

- ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

5. 作業終了時には必ずトリガをロックし、電池パックをはずす。

6. 作業終了時には必ずフィニッシュネイルを抜き取る。

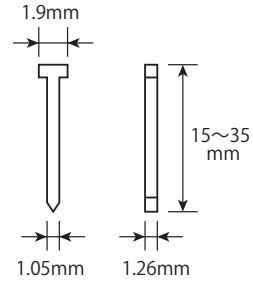
- ・フィニッシュネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。

7. 本機は注意深く手入れをする。

安全に能率よく作業していただくために、本機は常に手入れをし、清潔に保ってください (P38 参照)。付属品のお手入れは、取扱説明書に従ってください。

8. 使用しない場合は、きちんと保管する。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - ・充電工具や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所 (金属の箱や夏の車内など) に保管しないでください。
- 電池パック劣化の原因になり、発煙・発火のおそれがあります。



⚠ 安全上のご注意(本体)

⚠ 注意

9. 損傷した部品がないか点検する。

- ・使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- ・トリガ(スイッチ)で始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

10. 充電工具の修理は、専門店に依頼する。

- ・サービスマン以外の方は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお買い求めの販売店様を通じて点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

⚠ 安全装置について

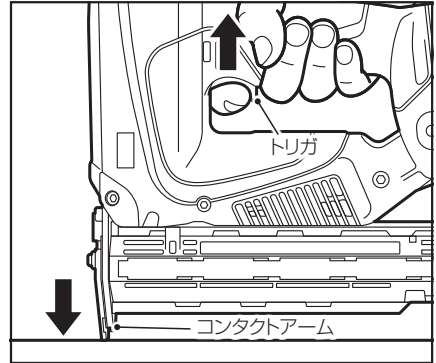
⚠ 警告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず確認する。正常に作動しない場合は使用しない。

釘打ち作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置（シーケンシャルトリガ）

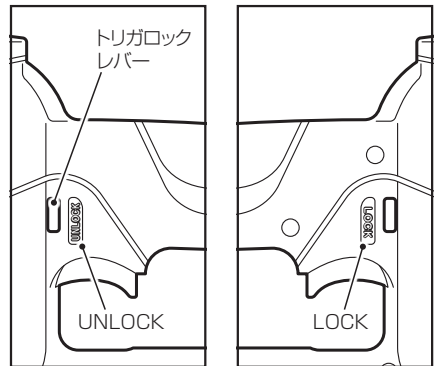
これはコンタクトアーム、そしてトリガの順に作動させないとフィニッシュネイルを発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけのときや、コンタクトアームを打込対象物に当てただけのとき、また、トリガ、コンタクトアームの順に作動させたときはフィニッシュネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当ててからトリガを引いたときのみフィニッシュネイルは発射されます。



●トリガロック装置

本機には安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しない時に本機の使用者の意志によってトリガをロック（固定）することにより作業できないようにすることができる装置です。

フィニッシュネイルを打っている時以外は、トリガロックレバーをLOCK（ロック）と表示されている側から一杯に押して、トリガをロックしてください。作業を始める場合はトリガロックレバーをUNLOCK（アンロック）と表示されている側から一杯に押して、トリガロックを解除してください。



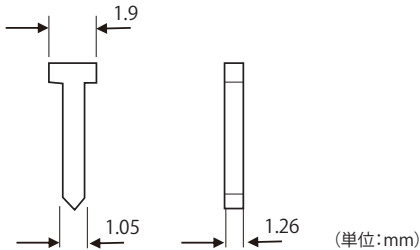
※出荷時はトリガをロックしてあります。

仕様及び付属品・使用フィニッシュネイル

〈本体〉

商 品 名	マックス充電式フィニッシュネイル		
商 品 記 号	TJ-35FN1-BC/50A	TJ-35FN1-BC/25A	TJ-35FN1
寸 法	(H) 223mm (W) 80mm (L) 264mm	(H) 223mm (W) 80mm (L) 246mm	(H) 223mm (W) 80mm (L) 232mm
質 量	2.2kg	2.0kg	1.6kg
フィニッシュネイル装填数	100本(最大104本)		
電 池 電 圧	18V		
使 用 電 池 パ ッ ク	マックスリチウムイオン電池パック		—
	JP-L91850A (5.0Ah)	JP-L91825A (2.5Ah)	

〈フィニッシュネイルサイズ〉



足長 (mm)	種類	
	メッキ	ステンレス
15	F15M0	F15M0-S
20	F20M0	F20M0-S
25	F25M0	F25M0-S
30	F30M0	F30M0-S
35	F35M0	F35M0-S

※ラインナップは予告なしに変更する場合があります。

※種類、足長によりご用意しているカラーが異なります。お買い求めの販売店様にご確認ください。

〈電池パック〉

商 品 名	マックス リチウムイオン電池パック	
商 品 記 号	JP-L91850A	JP-L91825A
電 池 種 類	リチウムイオン電池	
公 称 電 圧	DC 18V	
公 称 容 量 (定格容量)	5.0Ah (4.9Ah)	2.5Ah (2.45Ah)
充 電 時 間 (周囲温度 25℃時) (充電器JC-925使用)	実用充電 約55分(容量の約90%) 満充電 約65分(容量の約100%)	実用充電 約40分(容量の約90%) 満充電 約55分(容量の約100%)
付 属 品	パックキャップ [短絡(ショート)防止用]	
質 量	0.6kg	0.3kg

※上記仕様は改良のため、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

※本機に 14.4V リチウムイオン電池パックを取付けてお使いの場合、1 充電当たりの打込み本数が減る等、十分な性能を発揮できません。

〈充電器〉

商 品 名	マックス リチウムイオン急速充電器
商 品 記 号	JC-925
電 源 (入 力)	AC 100V 50/60Hz 290VA
充 電 電 圧 / 電 流 (出 力)	DC 14.4V/7.5A DC 18V/5.4A DC 25.2V/4.5A
質 量	1.4kg
使 用 温 度 範 囲	5℃～40℃
冷 却	ファン付
付 属 品	電源コード (2Pメガネ型プラグ)

※上記仕様は改良のため、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

〈付属品〉

	TJ-35FN1-BC/50A	TJ-35FN1-BC/25A	TJ-35FN1
電 池 パ ッ ク	○ (JP-L91850A 1個)	○ (JP-L91825A 1個)	—
充 電 器	○	○	—
コ ン タ ク ト ト ッ プ	○	○	○
六 角 棒 ス パ ナ 3 m m	○	○	○
保 護 メ ガ ネ	○	○	○
取 扱 説 明 書	○	○	○
保 証 書	○	○	○
キ ャ リ ン グ ケ ー ス	○	○	○

電池パックと充電器の使い方

⚠ 警告

- 指定電圧で充電する。
必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。
- エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。
故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- 正常なコンセントを使う。
充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

■ 充電方法

※お買い上げ時の電池パックについて

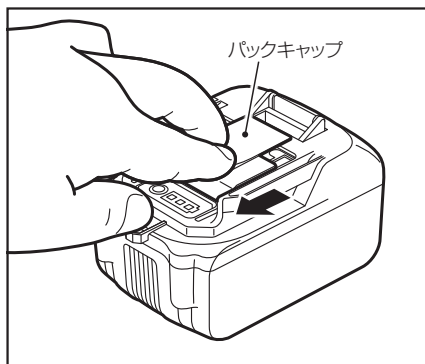
お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

⚠ 警告

- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、本機に取付け、トリガを引くと作動するおそれがあるので注意する。
- 電池パックを本機に取付け、取外しをするときは、必ずトリガをロックし、トリガに指をかけない。

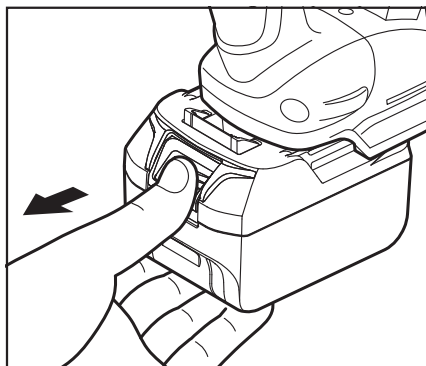
手順

- ① 本体のトリガをロックしてください
(P15 安全装置について 参照)。
- ② 電池パックの端子部にかぶせてある短絡
(ショート) 防止用のパックキャップを外し
てください。



一度使用されて電池パックを本機に取付け
ている場合は、本機より電池パックを取外し
ます。

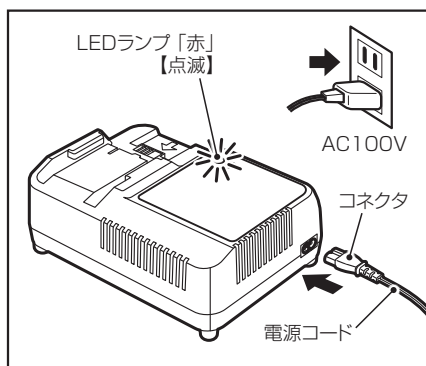
(P26 電池パックの取外し方 参照)



**③ 充電器の電源コードのコネクタを充電器
本体に差し込み、電源プラグをAC100V
のコンセントに差し込んでください。**

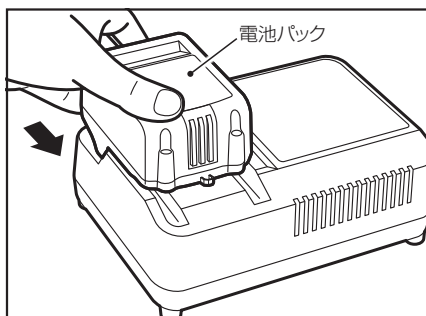
※この際に、充電器本体のコネクタ接続
部分にゴミ等の異物がないことを確認
してください。

LEDランプ「赤」が点滅し、電子ブザーが
2回「ピ、ピ」と鳴り、通電状態をお知らせ
します。



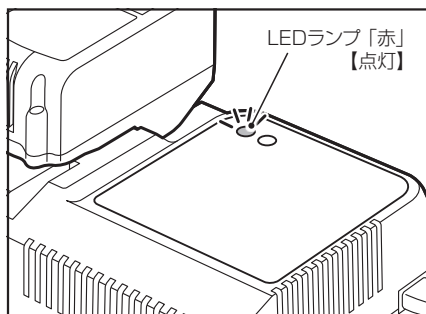
④ 電池パックを充電してください。

1. 電池パックを充電器の電池パック装着口
の奥にあたるまでしっかりとスライド
させます。



2. 電池パックを充電器にセットすると、自動
的に充電を開始します。

LEDランプ「赤」が点灯し、電子ブザー
が1回「ピ」と鳴り、充電中をお知らせ
します。

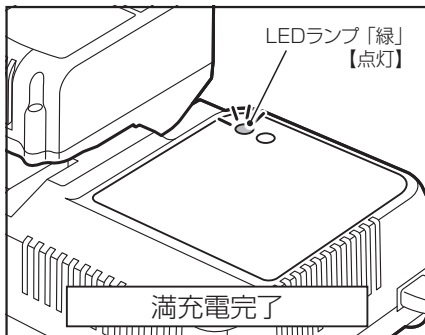
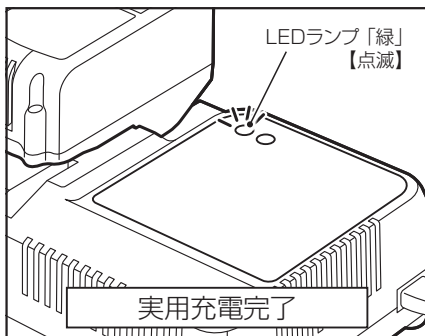


**3.LEDランプが「赤」から「緑」の点滅に
変わったら実用充電完了です。**

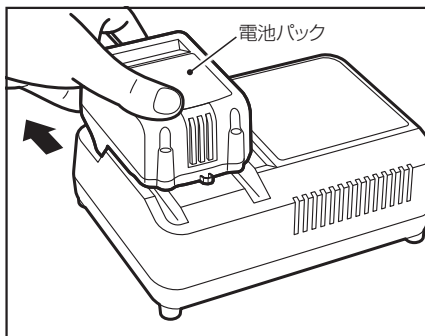
LEDランプ「緑」が点滅し、電子ブザーが「ピー」と約2秒鳴ります。この状態で電池パックの容量の約90%充電されています。

実用充電時間はJP-L91850Aが約55分、JP-L91825Aが約40分です。
(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)

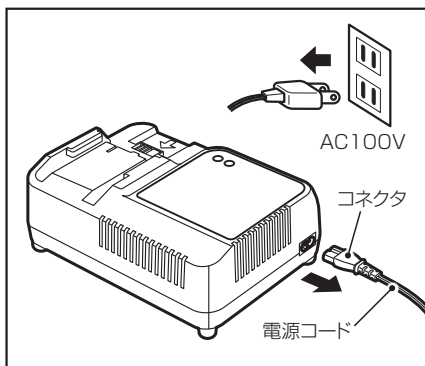
実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでおくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプ「緑」が点灯(電子ブザーが「ピー」と約2秒鳴ります)になれば満充電完了(容量の約100%)です。



⑤充電が完了したら電池パックを充電器から抜き取ってください。

















⑥電源コードの電源コネクタをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜いてください。



■充電時の充電器のランプ表示について



 赤点滅	 消灯	充電器 通電	通電し、充電開始できる状態です。
 赤	 消灯	急速充電中	急速充電中です。
 赤	 オレンジ	ソフト充電中	低温時等に電池の劣化を防ぐ充電を行っています。
 緑点滅	 消灯	実用充電完了	容量の約90%の充電が完了しました。
 緑	 消灯	満充電 完了	満充電が完了しました。
 消灯	 オレンジ	待機中	低温もしくは高温の為、充電待機中です。
 消灯	 オレンジ点滅	充電不可	電池パックもしくは充電器に異常があります。

注

●LED ランプ「赤」と「オレンジ」が点灯した場合：ソフト充電中

- 低温時（約10℃以下）は、充電器・電池パック保護のためソフト充電になり、充電時間が長くなります。
- 電池パックの温度が上がると通常の急速充電へと切り替わりますが、切り替わる時間は外気温によって差があります。

●LED ランプ「オレンジ」が点灯した場合：待機中

電池パックが高温の場合

電池パックが熱を持っている時（例：工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たる所に長時間放置した後など）は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合

電池パックが低温の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所にしばらく置いてから再度充電してください。

電源状態が異なる場合

電源電圧が極端に低かったり高かったりした場合、充電器回路保護のため待機中となり充電を開始しません。発電機や延長コードの使用をやめ、電源状態を改善してください。

●LED ランプ「オレンジ」が点滅した場合

(電子ブザーが「ピ・ピ・ピ…」と約10秒鳴る場合): 充電不可

充電できない状態です。この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、以下の確認をお願いします。

異物の確認

電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか確認してください。もし、異物が入っていたら柔らかいものなどで異物を取り除いてください。

電源状態の確認

電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないだり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

以上を確認・改善してもLED ランプ「オレンジ」が点滅し続ける時は、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックまたは充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試してください。それでもLED ランプ「オレンジ」が点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング& サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

- 満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再びLED ランプ「赤」が点灯することがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の「緑」点灯になります。
- 充電器には冷却ファンが内蔵されており、電池パック、充電器の温度に応じてファンが作動する場合があります。温度が下がればファンは自動的に停止します。
- 充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなる場合があります。
- 電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- 一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分程度休ませてください。

■充電器・電池パックの故障について

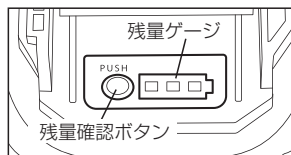
次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理なさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー様へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

- 充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んで、LEDランプ「赤」が点滅しない。(電池パックをセットしていない状態で)
- 充電器に電池パックをセットしてもLEDランプ「赤」も「オレンジ」も点灯点滅しない。
- 電池パックが高温の場合にLEDランプ「オレンジ」点灯後、1時間以上たってもLEDランプ「赤」が点灯しない。
- LEDランプ「赤」が点灯後、90分以上してもLEDランプ「緑」点滅に切り替わらない。


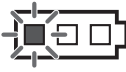



■電池残量表示について (JP-L91850A・JP-L91825A)

本機は充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

- ① 電池残量を確認したい時 (充電中または充電工具運転中以外) に、残量確認ボタンを押してください。



- ② その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。

	電池残量 0%	電池残量 約0~10%	電池残量 約10~40%	電池残量 約40~70%	電池残量 約70~100%
電池残量の表示方法	 全て消灯	 1個 点滅	 1個 点灯	 2個 点灯	 3個 点灯

注

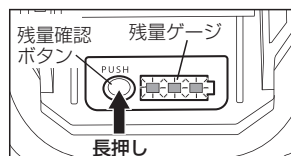
- 充電終了直後や工具の運転直後は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。
- 残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。
- 表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。
- 表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。

- 満充電完了前に電池パックを充電器から抜くと、1秒程度残量ゲージが点灯することがありますが、故障ではありません。
- 電池パックの端子が濡れた状態で残量確認ボタンを押すと、残量ゲージが左から右へ流れ点灯します。この表示となった時には必ずしっかり乾燥させてから使用を再開してください。

■静音ソフト充電機能について

本機には、冷却ファンを運転させずに静かに充電する静音ソフト充電機能があります。

- ①電池パックの残量確認ボタンを3秒間長押ししてください。
- ②残量ゲージが5秒間点滅しますので、その間に電池パックを充電器にセットしてください。



- ③LEDランプ「赤」・「オレンジ」が点灯し、静音ソフト充電を開始します。
※実用充電完了、満充電完了の合図は、急速充電時と同様です。

注

- 充電時間は常温状態で急速充電のおよそ2倍です(条件により充電時間は異なります)。
- 連続使用後や夏場の直射日光などにより電池パック及び充電器が極端な高温状態の場合、電池保護のため冷却ファンが回る場合があります。
- 電池残量が完全になくなった状態では、残量表示ランプが点滅せず、静音ソフト充電はできません。

■電池パックを長持ちさせるために(保管方法)

警告

- 使用後は、工具・充電器から電池パックを取り外し、短絡(ショート)防止用のパックキャップを電池パック端子部にかぶせて保管する。

注

- 工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電する。すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電する。無理して使いつづけると電池パックが傷み、寿命が短くなります。

●夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しない。

高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。

●使い切った状態のまま電池パックを保管しない。

充電が空の状態で長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。使い終わったらすぐ充電してください。

●電池パックを電動工具や充電器に装着したまま保管しない。

微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておくくと過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

■電池パックの寿命について

正しく充電しても打込み本数が著しく低下した場合には、電池寿命がつかたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

■リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点を注意してください。

⚠ 警告

- 必ずパックキャップをかぶせる。
- リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
- リチウムイオン電池同梱製品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
- 輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

■リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄りのマックス販売拠点・マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡(ショート)防止のため、端子部(金属部)に必ずパックキャップをかぶせ(絶縁テープを巻いて)リサイクルに出す。



Li-ion

リチウムイオン
電池はリサイクルへ

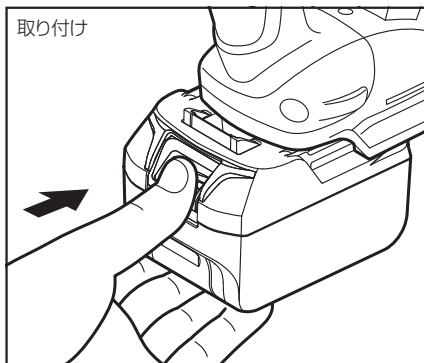
使用方法

■電池パックの取付け、取外し方

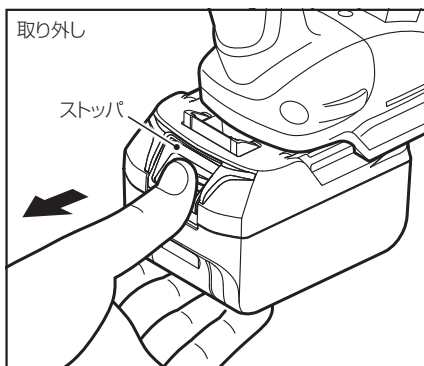
⚠ 警告

- 電池パックの取付け、取外しをする前に、必ずトリガをロックし、トリガに指をかけない。
- 電池パックの取付け、取外しをするときに、射出口を絶対に人体に向けない。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取付けられていることを確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどのおそれがあります。

取付けは、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



電池パックを本機から取外すときは、正面にあるストッパを押し下げ、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。



注

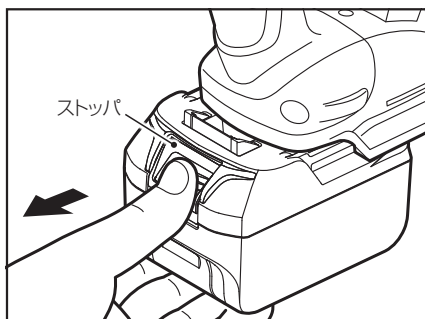
電池パックはJP-L91850A、JP-L91825Aをお使いください。14.4V電池パックJP-L914シリーズでは、1充電当たりの打込み可能本数が減る等十分な性能は発揮できません。

■フィニッシュネイル装填の仕方

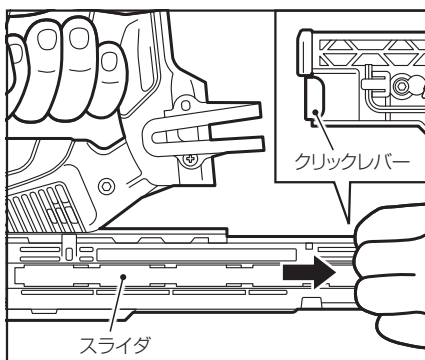
⚠ 警告

- フィニッシュネイル装填のときは、必ずトリガをロックし、トリガに指をかけない。
本機が作動してけがのおそれがあります。

- ①トリガをロックしてください。
- ②電池パックを外してください。
- ③周囲に人がいないことを確認してください。

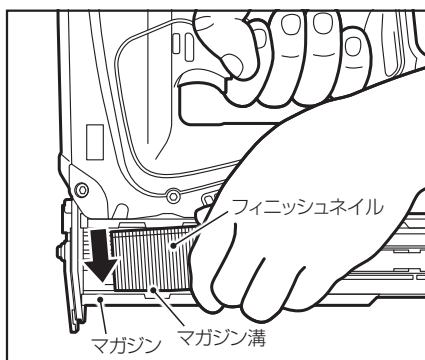


- ④クリックレバーを押しながら、スライダを止まるまで静かに引き出します。



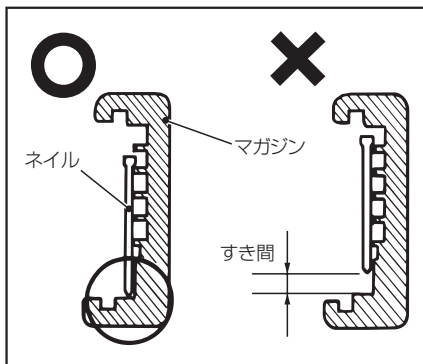
- ⑤マガジン内にフィニッシュネイルを入れます。
このとき、フィニッシュネイルの足先をマガジン下部にしっかり入れてください。

※特に短いサイズ (15、20mm) は、マガジン下部に足先がしっかり入っていることを確認してください。



⚠ 注意

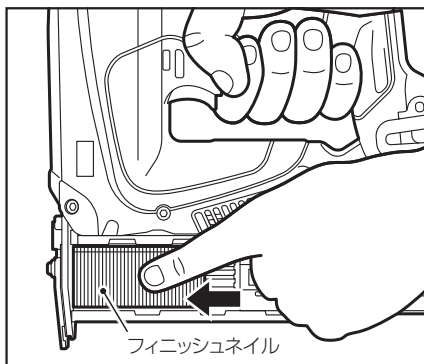
- 本機は15～35mmまでのフィニッシュネイルが使用できますが、ネイルの装填につきましては右図の状態になる様ご注意ください。フィニッシュネイルの足先端部をマガジンへ密着させた状態でスライダをセットします。すき間があるままスライダをセットしますと、ネイルづまりや、本機の故障の原因になります。尚、本機に1度に装填できるサイズ(足長さ)は一種類です。



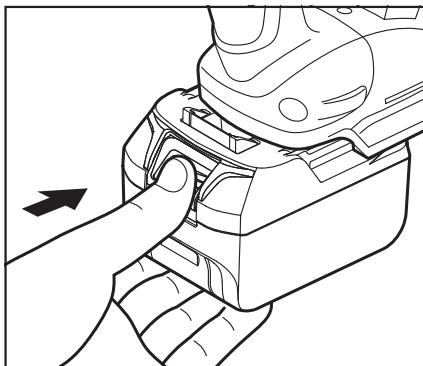
- ⑥マガジン内のフィニッシュネイルを指で射出口へ送り込みます。
- ⑦クリックレバーを押しながら、スライダを静かに閉じます。

⚠ 注意

- 強く閉じると、フィニッシュネイルの連結が変形して、スライダが閉じないことがあります。



- ⑧電池パックを再びセットしてください。



■打ち方

⚠ 警告

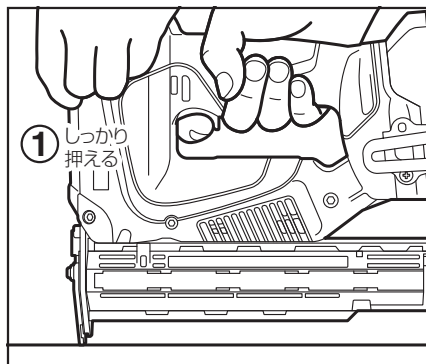
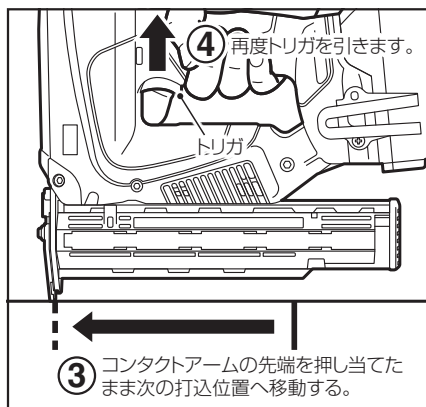
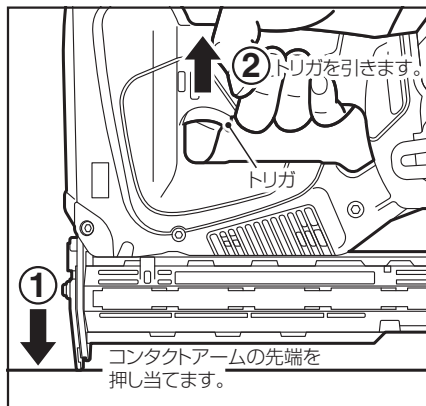
- 本機を動作させるときは、指などでコンタクトアームを固定しない。

本機は、安全性を重視した単発打ち専用機です。

- ①トリガロックを解除してください。
(P15 安全装置について 参照)
- ②フィニッシュネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当てて(①)からトリガを引きます(②)。
- ③トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを対象物に当ててもフィニッシュネイルは発射されませんので、トリガから指をいったんはなし、②の動作を繰り返して行ってください。
- ④フィニッシュネイルを打った後、コンタクトアームを押しつけたまま次の打込み位置へ移動して(③)再度トリガを引いてもフィニッシュネイルを打つことができます(④)。

注

- コンタクトアームを押し付けたまま10秒以上トリガを引かない場合は警告ランプが点滅して打てません。その時はコンタクトアームを一度対象物から離してください。
- ネイル頭が浮く等、打込みが不完全なときは本機の頭部をしっかりと押さえ打込んでください(①)。それでも不完全な場合は、本機的能力範囲外です。
- 連続して使用した場合は、モータの発熱により温度が上昇します。そのまま使うとモータの焼損等、故障、事故の原因となることがありますので、本機が熱くなったらしばらく休ませ熱が下がってからお使いください。



■空打ち防止機構について

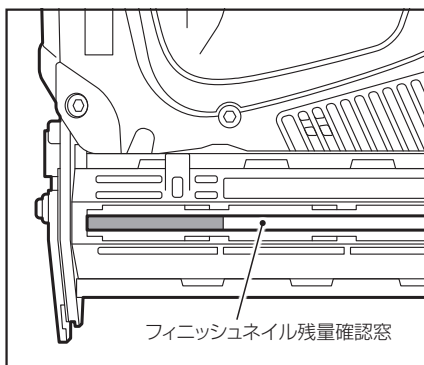
本機には空打ち防止機構がついています。マガジン内のフィニッシュネイルがなくなると、コンタクトアームがロックされコンタクトアーム先端を押し当てることができなくなり、トリガを引いても打てなくなります。

注

- フィニッシュネイルを打った後、コンタクトアームを押し付けたまま次の打込み位置へ移動して、再度トリガを引いて打ったときは、マガジン内のフィニッシュネイルが無くなっても本機が作動し、空打ち防止機構が働きません。

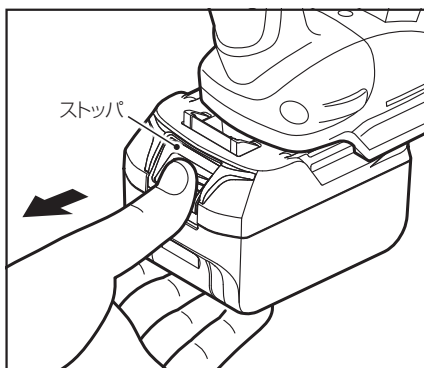
■フィニッシュネイル残量確認窓について

フィニッシュネイル残量確認窓でフィニッシュネイルの残量を確認することができます。



注

- マガジン内に残ったフィニッシュネイルを取り除くときは、トリガをロックし電池パックをはずしてから取り除いてください。
- 本機のフィニッシュネイル最大装填本数は、約104本です。追加装填する場合は、最大装填本数を超えないようにしてください。



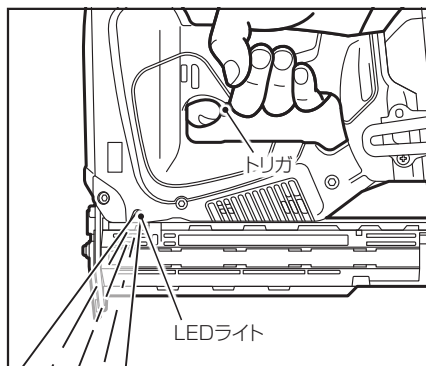
■LEDライトについて

⚠ 注意

●ライトの光を直接のぞき込んだり、ライトの光を直接目に当てない。

ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

- ・トリガを引く、もしくはコンタクトアームを部材に押し当てると、ライトが点灯します。
- ・トリガを離して、コンタクトアームを部材から離してから約30秒で消灯します。



■フックの取付け・取外し方

フックは左右どちら側にも取付け可能です。

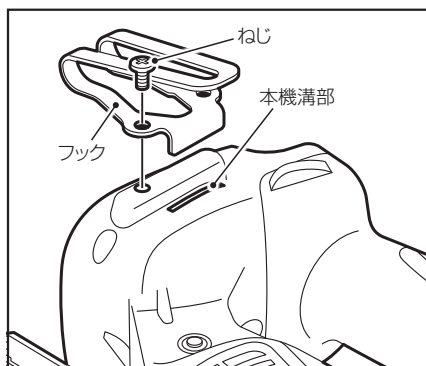
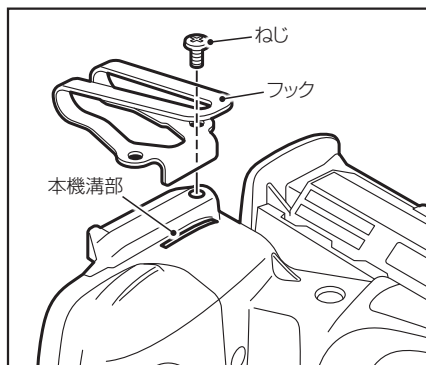
〈フックの取付け・取外し方〉

(取付け)

本機の溝部にフックを差込み、ねじを締付けて固定します。

(取外し)

ねじを緩めてからフックを取外します。



⚠ 警告

●フックの取付け・取外しの際には必ずトリガをロックし、電池パックを外してから行なう。

■1回の充電での作業量〈参考値〉

本機の1充電当たりの作業量の参考値です。

(打込可能本数は、周囲温度、電池パック特性などにより多少異なります)

打ち込み可能本数	
電池パック JP-L91850A (5.0Ah)	電池パック JP-L91825A (2.5Ah)
約4,000本	約2,000本

■コンタクトトップの取付け・取外し方法

本機には、コンタクトトップが装備されています。
柔らかい部材の保護等に、必要に応じてコンタクトトップを取付けてください。

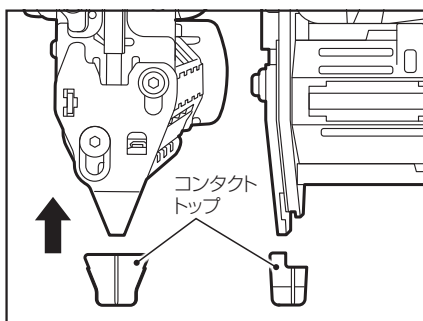
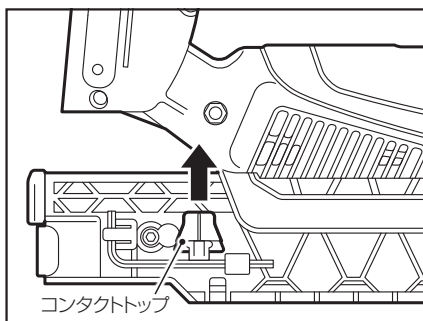
⚠ 警告

- コンタクトトップを取付け、取外しする際は、必ずトリガをロックし、電池パックをはずし、フィニッシュネイルを取り除く。

手順

<取付け方>

- ①トリガをロックし、電池パックをはずします。
- ②フィニッシュネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③マガジンに取付けてあるコンタクトトップをはずします。
- ④コンタクトトップをコンタクトアーム先端に差し込み、確実に取付けてください。

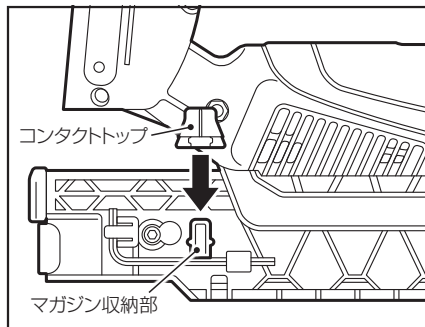
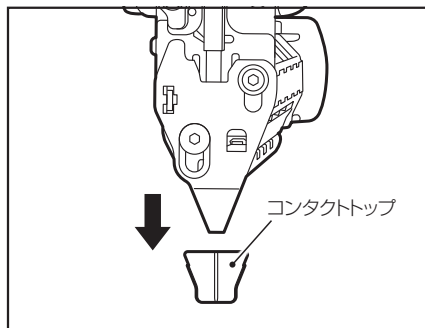


注

- コンタクトトップには向きがあります。
正しい方向で取付けてください。

<取外し方>

- ①トリガをロックし、電池パックをはずします。
- ②フィニッシュネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③コンタクトトップを引っ張り、コンタクトアームからはずします。
- ④コンタクトトップをマガジンの収納部に取り付けます。

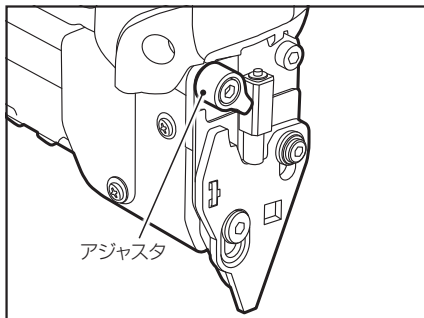


アジャスタの調整と打込状態の確認

本機には打込深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

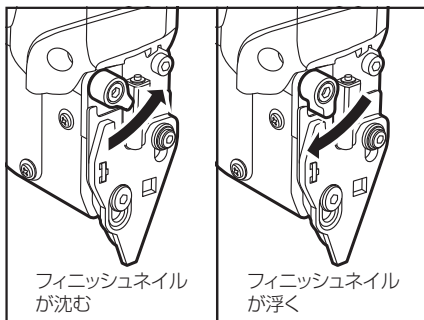
警告

- 調整の時は必ずトリガをロックし、電池パックをはずす。



手順

- 1 トリガをロックし、電池パックをはずします。
- 2 フィニッシュネイルを装填します。
- 3 本機に電池パックを取付け、トリガロックを解除します。
- 4 アジャスタの調整（フィニッシュネイルの打込調整）の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。
- 5 トリガをロックし、電池パックをはずします。
- 6 フィニッシュネイルを取り出します。
- 7 アジャスタを回し調整します。
※約1.5mmの調整ができます。
- 8 本機にフィニッシュネイルを装填します。
- 9 電池パックを取付け、トリガロックを解除してさらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。



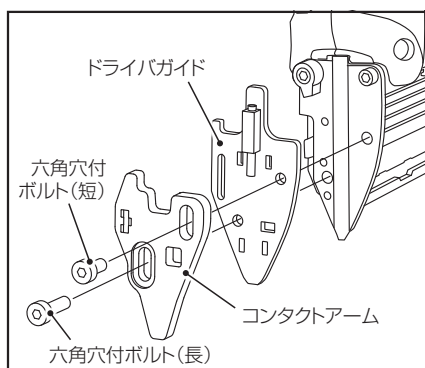
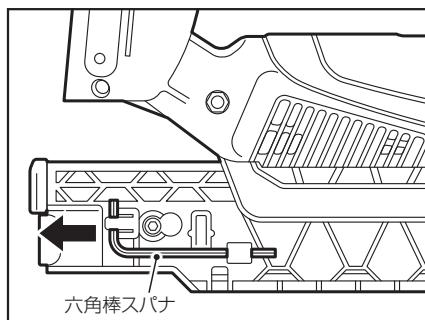
フィニッシュネイルづまりの直し方

⚠ 警告

- フィニッシュネイルづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、電池パックをはずす。

手順

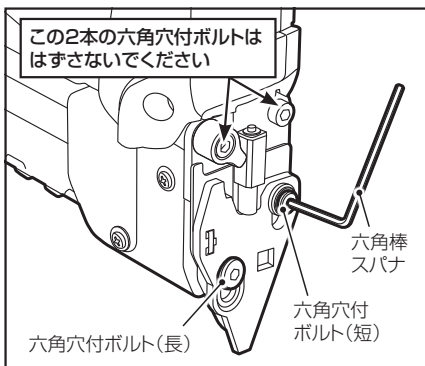
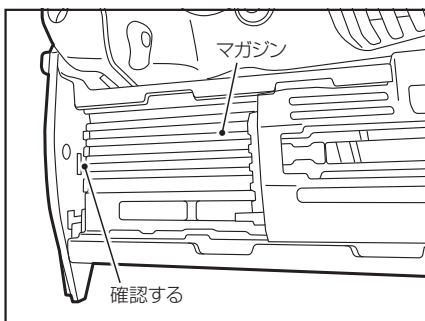
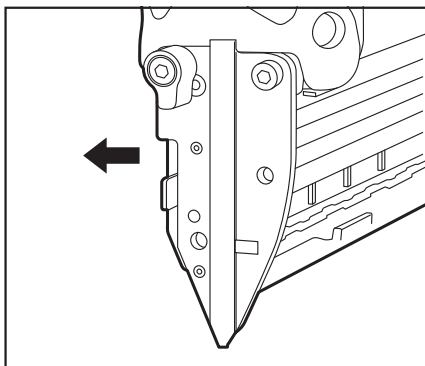
- ①トリガをロックし、電池パックをはずします。
- ②フィニッシュネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③マガジン後部に収納してある六角棒スパナを矢印方向に引き抜きます。
- ④コンタクトアームをとめている六角穴付ボルトを外して、コンタクトアームを外します。
- ⑤ドライバガイドをはずします。
- ⑥詰まったフィニッシュネイルを取り除きます。



⚠ 注意

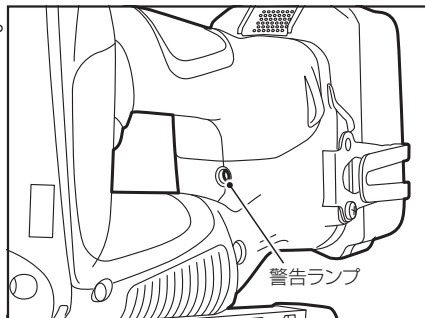
- 射出口に手を触れない。
- 詰まったフィニッシュネイルは、マイナスドライバー等の工具を使って取り除く。ドライバが途中で止まった状態で詰まったときは、詰まったフィニッシュネイルを取り除くと、ドライバが先端まで動きます。

- ⑦ ドライバの裏側にフィニッシュネイルが詰まっている場合、ドライバを横にずらして詰まったフィニッシュネイルを取り除いてください。
- ⑧ マガジン側からも詰まったフィニッシュネイルが取り除かれているか確認してください。
- ⑨ ドライバガイドとコンタクトアームを取付け、六角穴付ボルト (短) 六角穴付ボルト (長) を六角棒スパナでしっかりと締めてください。



警告ランプの表示と処置方法

本機は、下記状態を警告ランプでお知らせします。
警告ランプが点滅、もしくは点灯しましたら
下記状態に合わせて処置してください。
(警告ランプは約30秒で自動的に消灯します。)



警告ランプの表示	状態	処置方法
1秒間隔で点滅する ● → ○ → ● → ○ 点灯 消灯 点灯 消灯	電池パックの充電時期が 来ました	トリガをロックし、電池パックを外し、充電して ください (充電方法 P18 参照)。
トリガを引く、もしくはコンタクトアーム を押し付けた際に点灯する ● 点灯	連続使用により電池パックが 温度上昇した	作業を中断し、トリガをロックしてください。 熱をさますと再び作動するようになります。
速い点滅5回を約3秒間隔で繰り返す ●●●●● → ○ 5回点滅 消灯	①コンタクトアームを押し 付けたままトリガを10秒 以上引かない場合 ②木端、ゴミ等がコンタク トアームに付着し、コンタク トアームが戻らない場合 ③機械内部の故障	①機械を部材等から離し、コンタクトアーム を戻して下さい。 ②トリガをロックし、電池パックを外し、コン タクトアームに付着した木端、ゴミ等 を取り除いてください。 ③上記①②の処置を行っても警告ランプが 点滅する場合は、機械内部の故障です。 使用を中止してください。

警告

- 上記の状態になりましたら必ずトリガをロックし、電池パックを本機から外してから処置を行う。以上の処置方法を施しても警告ランプが消えない時は、トリガをロックし、電池パックを本機から外し、マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じて修理を依頼してください。

注

- 本機を低温の場所で使用しますと電池残量が0%になる前に警告ランプが点滅することがあります。その場合は、電池パックを充電してください。

性能を維持するために

⚠ 警告

- 本機の点検・手入れの際は、必ず電池パックを本体から外す。
電池パックを本機に取付けたまま行くと事故の原因になります。
- 充電器の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

■本機の手入れ

本機の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガソリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は本機を傷めますので使用しないでください。本機内部に液体が入らないように、また、本機を液体に浸けないように十分注意してください。

■各部取り付けねじの点検

本機のねじが緩んでいないか点検してください。もし、緩んでいたら締め直してください。

■作業後の保管

- 作業後や使用しない時は、トリガをロックし、電池パックを取外してからキャリングケースに収納して保管してください。
- 作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下のおそれがある所は避けてください。
- 電池パックを長持ちさせるために、長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、次のことに注意して保管してください。

注

- 充電してから保管する。
- 温度が 50℃以上の場所では保管しない。
- 20℃以下の場所では保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
- 湿度の高い場所に保管しない。
- 水を付着させない。
- 湿度の低い乾燥した場所で保管する。
- 運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
- 短絡（ショート）を防ぐために金属物に接触させない。
- 電池パックは必ず本機・充電器から取り外して保管する。

保証、アフターサービスについて

保証について

- 本機には保証書（外箱スリーブに添付）がついています。
- 所定事項の記入及び記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の保証期間はご購入日より1年間です。

※電池パック、チャargingケースは消耗品のため保証対象外です。

アフターサービスについて

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。
本機の調子が悪いときは、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

●マックスお客様ご相談ダイヤル

 0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

マックス株式会社

●販売拠点等

本	社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-0311
札	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙	支店	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121
盛	営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-3	TEL (019) 621-3541
東	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多	営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東	営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千	営業所	〒284-0001	千葉県四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400
群	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長	営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新	営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名	支店	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静	営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大	支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6444-2031
神	営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
京	営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
広	支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南	営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
東	センター	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (0120) 166-199
西	センター	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (0120) 113-850
埼	マックス(株)	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横	マックス(株)	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金	マックス(株)	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡	マックス(株)	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四	マックス(株)	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
四	マックス(株) 松山駐在所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本	社	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-6707
札	サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙	サービスステーション	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778
新	サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高	サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼	サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名	サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京	サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大	サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6446-0815
広	サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福	サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430
東	事業所	〒103-0015	東京都中央区日本橋箱崎町6-2	TEL (03) 5623-4611

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4100221
160304-00/00



便利メモ

お名前	商品名 TJ-35FN1
お買い上げ日 年 月 日	製造番号
販売店名	☎